

# 平成27年度施策評価シート

基本施策	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る		
総合計画での位置付け	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして
	分野	6	工業
主要な計画	・産業振興計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	<p>・本市には、飛驒の匠の技術と伝統を活かした木製家具などの木材関連工業や、国の伝統的工芸品に指定されている飛驒春慶や一位一刀彫などがある。工業統計によると本市における小規模事業所数は減少傾向、市全体の製造品出荷額も減少傾向にある。高速交通化・国際化・情報化・技術革新など時代の潮流に加え、経済情勢の変化にともなう需要の低迷など工業をとりまく環境は厳しい状況にある。</p> <p>・本施策は、豊かで安定した市民生活を営むことのできる基盤として、地域の資源や特性を活かした産業が活発な「にぎわい」のあるまちづくりをすすめるため、時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図ることを目的としている。</p>		

## 1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当 部局
1 経営体質の強化	ア 企業経営に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所、商工会と連携し、事業者の経営相談等の取り組みを行った。</li> <li>・中小企業者に対する市制度融資の拡充や、利子・保証料補給制度の拡充、国県制度融資利用者に対する利子補給制度等の拡充、プレミアム付商品券事業等を行い、事業者の経営の安定化、積極的な事業展開を支援した。</li> </ul>	商工部 観光部
	イ 企業経営における情報通信技術の活用や人材育成などに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ブランドの確立のための人材育成やIT活用の取り組みに対して、飛驒高山ブランド振興事業補助金の支援制度の活用をPRした。</li> <li>・伝統産業の後継者育成のため、飛驒の匠育成事業補助金等により支援を行った。</li> <li>・飛驒高山の名匠認定制度を創設し、後継者育成に努めた。</li> </ul>	商工部 観光部
	ウ 販路の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市圏における物産展開催や味まつり等にかかる経費の一部を助成し、地場産品を積極的に販売・PRし、販路の拡大を図った。</li> <li>・国内外で開催される見本市等へ出展する産業団体に対して、飛驒高山ブランド振興事業補助金により経費の一部を助成し、積極的な事業展開の推進、販路の拡大を図った。</li> </ul>	商工部 観光部
	エ 消費者ニーズをとらえた魅力ある製品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携等促進事業補助金により、事業者が大学や研究機関、異業種等と連携して行う新商品、新技術等の研究開発事業にかかる経費の一部を助成し、取り組みを促進した。</li> <li>・飛驒高山ブランド振興事業補助金により、産業団体等が行う新商品開発事業等にかかる経費の一部を助成し、取り組みを促進した。</li> </ul>	商工部 観光部
	オ 特色ある資源を活かしたブランドの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的工芸品産業や木工産業の振興のため、産業団体が取り組む事業等に対し、経費の一部を助成し、ブランド力の強化に向けた取り組み等を促進した。</li> </ul>	商工部 観光部
	カ 地元産土産品や特産品のパッケージなどのデザインの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土産品振興奨励審査会を開催し、新作土産品及び推奨土産品を審査・公表し、パッケージデザイン等も含めた特産品等の品質の向上を図った。</li> </ul>	商工部 観光部
	キ 伝統的工芸品産業の後継者育成に対する助成、原材料の確保に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的工芸品産業の後継者育成のための助成制度、原材料の確保のための資金の無利子貸付等を行った。</li> </ul>	商工部 観光部
2 企業誘致の推進	ア 全国でもトップレベルの優遇制度による企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致優遇制度創設後、企業誘致を積極的に推進し、新たな雇用の創出を支援した。</li> <li>・清見造成地については、平成24年に工場と太陽光発電施設を誘致した。</li> </ul>	商工部 観光部
	イ 企業誘致に適した土地の確保や基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせ企業に対し、立地に適した土地の情報を提供するため、随時情報収集を行った。</li> </ul>	商工部 観光部
3 出あられたな工業の創	ア 時代の流れに対応して成長が期待される分野における工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会が進展するなか成長が期待されるコールセンターの誘致に対し支援を行うなど、今まで市内にない企業の進出を促進するとともに、地元資源を生かした新たな企業の立地に対して支援を行った。</li> </ul>	商工部 観光部
	イ 起業や新分野進出に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家の育成・支援、新分野への進出促進のため、市創業支援資金融資制度を実施し、資金提供を行うとともに、県創業支援資金融資の利用者に対しても利子補給を実施し支援した。</li> <li>・平成26年度に高山市創業支援計画を作成し国の認定を受け、起業を支援する体制を整えた。</li> </ul>	商工部 観光部

## 2 指標の推移

指標名	単位	関連 施策	好まし い 方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
商工会議所の会員数	事業所 事業所	1-ア	↑	2,575	2,530	2,499	2,441	2,436	2,399	-
商工会の会員数	事業所	1-ア	↑	1,251	1,224	1,204	1,204	1,185	1,165	-
市内開業率 (経済センサスにより把握)	%	1-ア	↑	5.5	-	-	4.8	-	-	-
市内廃業率 (経済センサスにより把握)	%	1-ア 3-エ	↑	15.4	-	-	15.6	-	-	-
市制度融資の利用件数	件	1-ア 3-エ	↑	460	367	468	439	374	331	440
県制度融資利用者への利子補給 件数	件	1-ア 3-エ	↑	277	603	1,019	1,110	1,084	1,065	820
日本政策金融公庫融資利用者へ の利子補給件数	件	1-ア	↑	55	73	116	118	106	115	126
プレミアム付き商品券事業におけ る経済波及効果	千円	1-ア	↑	-	-	-	337,000	-	-	-
市内の製造品出荷額等	億円	1-ア~ キ	↑	1,234	1,158	1,059	1,036	-	1,190	1,600
木工関係業種の製造品出荷額等	億円	1-ア~ キ	↑	153.5	147.5	131.3	123.6	133.7	131.7	-
特産品の製造品出荷額等	億円	1-ア~ キ	↑	62.6	74.4	55.5	53.6	45.0	52.3	-
伝統的工芸品産業の技術習得研 修者数	人	1-イ	↑	2	1	0	0	0	0	2
木工芸術スクール(木工・建築意 匠科建築コース)入校者等の数	人	1-イ	↑	2	0	0	2	1	0	2
木工関係業種の従業者数	人	1-イ	↑	1,416	1,343	1,252	1,225	1,181	1,190	-
特産品の従業者数	人	1-イ	↑	711	709	665	657	601	682	-
飛騨春慶、一位一刀彫の組員 数	人	1-イ	↑	89	82	79	76	68	68	-
飛騨高山展における売上(高山市 分)	千円	1-ウ	↑	93,853	64,176	112,081	100,750	109,701	111,011	120,000
観光客が高山を知った媒体に占める物産展 の割合(観光統計のアンケート結果)	%	1-ウ	↑	2.20	2.33	1.85	1.64	1.41	0.64	3.00
飛騨の味まつり来場者数	人	1-ウ	↑	73,000	87,000	82,000	104,000	91,000	101,000	100,000
飛騨高山ブランド振興事業補助金によ る海外展示会における商談・情報収集 件数	件	1-ウ	↑	282	152	251	345	544	446	300
飛騨高山ブランド振興事業補助金 による新商品開発助成件数	件	1-エ	↑	0	0	0	2	0	0	2
産学官連携等促進事業補助金によ る大学等との連携件数	件	1-オ	↑	0	0	0	2	3	2	2
高山市推奨土産品の登録件数	件	1-カ	↑	182	185	207	213	231	217	300
漆器・漆器木地・一位一刀彫の製 造品出荷額等	億円	1-キ	→	10.6	12.5	8.7	8.7	5.4	9.3	-
企業立地助成制度に基づく立地件 数	件	2-ア	↑	2	1	7	1	0	2	1
雇用促進助成金対象従業員数	人	2-ア	↑	154	221	284	423	414	424	-
企業訪問・立地相談件数	件	2-イ	↑	74	269	335	344	488	292	-

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21	点数	36.5	(平均) (54.6)	79.4	(平均) (79.7)	Ⅲ	やや低い
	順位	42施策中	41番目	42施策中	23番目		
H25	点数	40.3	(平均) (56.9)	82.8	(平均) (81.8)	I	高い
	順位	43施策中	42番目	43施策中	20番目		
H27 (今回)	点数	41.0	(平均) (56.0)	81.3	(平均) (81.2)	I	高い
	順位	43施策中	42番目	43施策中	22番目		

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		商工観光部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	経営 体質 の 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業者に対する市制度融資の拡充や、利子・保証料補給制度の拡充、国県制度融資利用者に対する利子補給制度等の拡充を行い、多くの企業の経営の安定化につながった。</li> <li>・伝統産業の後継者育成のため、飛驒の匠育成事業補助金等により支援を行ったが、後継者不足の解消に至っていない。</li> <li>・地域間競争が激化する中で、飛驒高山ブランドを更に高め、地域の魅力向上につながる取り組みは、持続可能な地域社会を形成する上で極めて重要であるため、時代に適応し、事業者のニーズにあった支援策となるよう改善しながら実施する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛驒高山展の開催や海外見本市出展等への支援、観光・商工業と農林畜産業の連携などによる地場産品の国内外への宣伝・販売促進活動の推進</li> <li>・伝統産業における後継者の育成や原材料の確保への支援などによる伝統技術の継承</li> <li>・飛驒の匠の心と技を今に受け継ぐ飛驒高山の名匠認定制度などによる伝統産業の振興</li> <li>・産学官・農商工・異業種連携への支援などによる商品の高品質・高付加価値化の促進</li> </ul>
2	企業 誘致 の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致優遇制度創設後、企業誘致を積極的に推進し、新たな雇用の場を確保したが、市外企業の立地は非常に難しい状況である。更なる制度の周知を図るとともに、新しい分野に対する支援も検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所等の新設・増移設や新たな常雇用への支援などによる企業の立地促進</li> <li>・森林資源の多面的活用等への支援などによる新たな企業の立地促進</li> </ul>
3	あら たな 工業 の 創 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家の育成・支援、新分野への進出促進のため、市創業支援資金融資制度を実施し、資金提供を行うとともに、県創業支援資金融資の利用者に対しても利子補給を実施し支援したが、市内開業率は国と比較して低い水準にある。</li> <li>・起業や新分野への進出を支援するため、平成26年度に高山市創業支援計画を作成し国の認定を受け、起業を支援する体制を整えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の整備やセミナーの開催などによる起業家の包括的な支援体制の強化</li> <li>・資金調達手段の充実や利子・保証料補給などによる起業・創業の促進</li> <li>・産学金官の連携強化や地産地消の促進などによる地域内資金循環の活性化と事業者の育成</li> </ul>

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員数、製造品出荷額等が減少傾向である。</li> <li>・伝統的工芸品の後継者が不足している。</li> <li>・伝統的工芸品の原材料確保が難しくなっている。</li> <li>・市外からの企業誘致が図られていない。</li> </ul> <p>といったことが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度が低く、今後の重要度がやや高くなっていることを踏まえ、産業振興計画に基づき、経営体質の強化や地域資源を活かした魅力あるものづくりなどに取り組んでいく必要がある。</p> <p>特に、伝統的工芸品をはじめとした地場産業の維持・発展に取り組むとともに、企業誘致の優遇制度が有効に活用されるようにする必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<p>「概要3-ア 時代の流れに対応して成長が期待される分野における工業の振興」について、企業誘致だけではなく、人材の誘致をもっと真剣に考えていかないと、企業が存在できなくなってしまう、飛騨高山としての「おもてなし」も出来なくなる。</p> <p>各産業のためにも、人材確保の動きにもっと力を入れる必要がある。</p>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連施策	事業コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	61120	高山商工会議所等補助金	88	31,849	31,987
1-ア	61155	中小企業設備近代化資金貸付金	30	0	0
1-ア	61160	県保証協会小口融資預託金	90	525,607	537,814
1-ア	61165	県保証協会中小企業経営安定特別融資預託金	80	561,288	606,855
1-ア	61168	小規模事業者経営改善資金貸付利子補給金	90	1,582	1,569
1-ア	61169	経営環境変化資金貸付利子補給金	80	2,373	770
1-ア～キ、3-エ	61175	商工業振興関係事務費	90	1,172	1,331
1-イ	61105	伝統的工芸品産業振興事業費	80	1,079	905
1-イ	61130	伝統的工芸品産業後継者育成事業補助金	70	50	698
1-ウ	61100	物産宣伝推進事業費	80	16,288	16,111
1-ウ	61140	地場産業振興事業補助金	88	28,841	29,231
1-ウ、1-エ	61147	飛騨高山ブランド振興事業補助金	80	9,042	8,247
1-ア、3-エ	61148	新分野開拓支援補助金	80	25,781	28,119
1-ア、3-エ	61149	中小企業振興支援事業補助金	90	140,936	116,134
1-カ	61110	観光土産品奨励振興事業費	80	431	345
1-キ	61170	伝統的工芸品産業振興貸付金	90	40,000	40,000
2-ア、イ	61178	企業誘致対策事業費	80	190,689	165,002

平均点	H25年度	H26年度
80.35	1,577,008	1,585,118